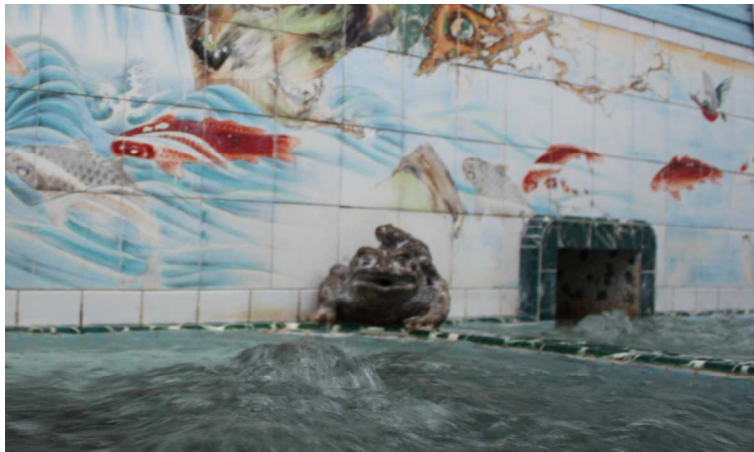




東京の新名所「史蹟と銭湯」

江戸東京研究センター「江戸東京の“ユニークさ”」プロジェクトチーム研究会



近現代の東京には、伝統的な名所に加え、新しい名所が次々と誕生して人々をひきつけてきました。歴史上重要とされる「史蹟」と、庶民生活の憩いの場「銭湯」は、ともに近現代の東京名所を考えるうえで重要です。近代東京の「史蹟」はどのような社会背景のもとに選定され、保存されたのでしょうか。また、東京の庶民に身近であった「銭湯」は、現代人の非日常的な贅沢空間として名所を獲得するのでしょうか。江戸東京研究センターの若手研究者の発表をもとに、近現代の東京の新たな名所形成の動きについて考えます。

14:00～ 「近代東京における史蹟保存事業とその周辺」
齋藤智志(秋山庄太郎写真美術館主任学芸員)

15:10～ 「ご近所のぜいたく空間“銭湯”ー現状と可能性ー」
栗生はるか(法政大学江戸東京研究センター客員研究員)

コメンター 米家志乃布(法政大学文学部教授)
岡村民夫(法政大学国際文化学部教授)



事前申込サイト

2020年10月24日(土)

14時～16時30分

オンラインにて開催

(オンライン会議システムZoomを使用します)

参加無料・事前申込が必要です

事前申込はこちら

<https://forms.gle/yYfEQGSzHV3x1Wi18>

EToS

江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

法政大学
HOSEI University

お問い合わせ

法政大学江戸東京研究センター
102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
Email: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp